# 第 2 3 期 決 算 公 告

東京都中央区日本橋本石町1丁目2番2号 エムイーシーテクノ株式会社 代表取締役社長 髙島 正巳

## 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:百万円)

# 42 10 10	<b>人 哲</b>		単位:百万円)
勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)	06 045	(負債の部)	10 401
流動資産	26, 845	流動負債	18, 401
現金及び預金	627	支払手形	163
受 取 手 形	513	電子記録債務	3, 167
電子記録債権	750	工事未払金	6, 144
完成工事未収入金	20, 427	短 期 借 入 金	2,850
契 約 資 産	1, 729	リース 債 務	25
未成工事支出金	2, 316	未 払 金	1, 446
材料及び貯蔵品	0	未 払 費 用	238
前 渡 金	401	未 払 法 人 税 等	158
前 払 費 用	36	未 払 事 業 税	193
未 収 入 金	44	未 払 事 業 所 税	27
そ の 他	2	未払消費税等	518
		未成工事受入金	422
		賞 与 引 当 金	2,834
固定資産	4, 445	役員賞与引当金	4
有形固定資産	2, 687	完成工事補償引当金	45
		そ の 他	166
建物	1,802	固定負債	2, 515
構築物	95	リ ー ス 債 務	61
機械装置	95	退職給付引当金	2, 383
車 両 運 搬 具	1	役員退職慰労引当金	23
工具器具備品	118	資 産 除 去 債 務	48
土 地	403		
リ ー ス 資 産	68	負債合計	20, 916
建設仮勘定	105	(純資産の部)	
無形固定資產	55	株主資本	10, 374
ソフトウェア	55	資本金	310
投資その他の資産	1, 703	資本剰余金	245
投 資 有 価 証 券	1	その他資本剰余金	245
関係会社株式	13	利益剰余金	9, 819
その他の出資金	0	利 益 準 備 金	78
差 入 保 証 金	44	その他利益剰余金	9, 741
繰 延 税 金 資 産	1,634	繰越利益剰余金	9, 741
その他投資等	12	評価・換算差額等	$\triangle$ 0
貸 倒 引 当 金	$\triangle$ 2	その他有価証券評価差額金	$\triangle$ 0
		純資産合計	10, 374
資産合計	31, 290	負債及び純資産合計	31, 290

# 損益計算書

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	 科				金	<u>(単位:百万円)</u> 額
	11					F/\
完 兒	<b></b>	事	高			50, 377
完 成	工事	原	価			44, 523
完	成工事	総	利	益		5, 854
販売費	及び一般管	理費				2, 082
営	業	利		益		3, 772
営業	外 収	益				
	受 取	利	息		0	
	受 取 配	当	金		73	
	投資有価証	券売刦	1益		0	
	固定資産	売 却	益		14	
	その他営	業 外 収	益		1	88
営業	外費	用				
	支 払	利	息		14	
	固定資産	廃棄	損		8	
	固定資産	撤去	費		37	
	その他営	業外費	用		1	60
経	常	利		益		3, 800
特	別利	益				80
	退職給付制		益		80	
税	引 前 当	期純	利	益		3, 880
法	人税、住民和	说及び	事 業	税	1, 431	
法	人 税 等	調	整	額	△ 401	1, 030
当	期 純	i 利	J	益		2, 850

## 個 別 注 記 表

エムイーシーテクノ株式会社

## 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 関連会社株式 移動平均法による原価法

② その他有価証券

1) 市場価格のない株式等 時価法

以外のもの(評価差額は全部純資産直入法、売却原価は移動平均

法)

2) 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 未成工事支出金 個別法による原価法

(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下

げの方法により算定)

② 材料及び貯蔵品 最終仕入原価法による原価法

(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下

げの方法により算定)

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 定額法

② 無形固定資産 定額法

(自社利用のソフトウェアは、社内における利用可能

期間に基づき主として5年で償却)

③ リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする

定額法

(4) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上し、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員賞与(使用人兼務取締役の使用人部分を含む)の支給に備えるため、直近時の支給実績を勘案し、支給見込額を計上しております。

③ 役員賞与引当金

役員賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

④ 完成工事補償引当金

請負にかかる目的物の瑕疵担保に備えるため、過去の実績に基づく補償工事費見

積額を計上しております。

#### ⑤ 受注工事損失引当金

受注工事における損失発生に備えるため、未引渡工事のうち当事業年度末で損失 発生の確度が高く、かつその金額を合理的に見積ることができるものについて、翌 年以降に発生すると見込まれる額を計上しております。

#### ⑥ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。退職給付債務の算定に当たり、退職給付見込額の期間帰属方法は、給付算定式基準を採用しております。なお、過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の5年で均等に費用処理しております。また、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の5年で均等に翌事業年度から費用処理しております。

#### ⑦ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給規則に基づく期末要 支給額を計上しております。

#### (5) 収益及び費用の計上基準

当社は、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

#### 2 貸借対照表関係に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

2,501 百万円

(2) 関係会社に対する短期金銭債権

12,792 百万円

(3) 関係会社に対する短期金銭債務

4,290 百万円

## 3 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

[繰延税金資産]

退職給付引当金709 百万円賞与引当金843 百万円その他210 百万円繰延税金資産計1,762 百万円評価性引当額△128 百万円繰延税金資産合計1,634 百万円

(法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理)

当社は、グループ通算制度を適用しており、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理について、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

## 4 関連当事者との取引に関する注記

## (1) 親会社

属性	会社等の 名称	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	三菱ケミカル グループ株式 会社	被所有間接 100%	グループ通 算制度上の 完全子法人	グループ通 算制度によ る通算税効 果額の授受	1,002	その他未払金	1, 002
親会社 三菱ケミカル 株式会社						完成工事 未収入金	9, 572
	被所有 間接 100%	工事の請負	保全・建設 工事等の売 上(注1)	22, 420	契約資産	560	
					受取手形	19	
						未成工事受 入金	1
親会社 エンジニア		被所有   直接 100%	工事の請負、 資金の借入・ 余資の預入	保全・建設 工事等の売 上 (注 1)	6, 660	完成工事未 収入金	3, 225
	三菱ケミカルエンジニアリ			資金の回収 (注 2)	1,850	契約資産	419
	ング株式会社			資金の借入 (注 2)	2, 850	その他未払 金	328
				利息の支払 (注 2)	3	短期借入金	2, 850

## (2) 兄弟会社等

属性	会社等の 名称	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の 子会社	三菱ケミカル 旭化成エチレ ン株式会社	なし	工事の請負	保全・建設 工事等の売 上(注1)	1, 331	完成工事未 収入金	475
親会社の 子会社	日本液炭株式会社	なし	工事の請負	保全・建設 工事等の売 上 (注 1)	598	完成工事未 収入金	326

<sup>(</sup>注) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 保全・建設工事の請負額は、市場価格に基づいた一般的取引条件により決定しています
- (注 2) 利率は市場金利を勘案して合理的に決定しています。担保の提供、受入はありません。 資金の貸付・借入及び資金の寄託取引については、取引が反復的になされているため、 取引金額をネット表示しております。

### 5 収益認識に関する注記

当社は、各種プラント、生産設備に関する建設工事・メンテナンス業務を主な事業としております。

請負工事契約において、一定の期間にわたり充足される履行義務については、期間がごく短い工事を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合(インプット法)で算出しております。

## 6 一株当たり情報に関する注記

(1) 一株当たり純資産額

1,684,086 円

(2) 一株当たり当期純利益

462,650 円

(注)本計算書類中の記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。